

まとめ・振り返りの充実

南会津の課題

まとめ・振り返りの時間が十分にとれない…。
何をどのように振り返らせていけばよいのか分からない…。



まずは、時間の確保に努め、確実に実施しましょう！

1 子供の学びの質を高め、学びを意味付ける力を育むまとめ・振り返り

「まとめ・振り返り」を充実させることでこんな子供の姿が！

そのためには

- ◎ 「見方・考え方」を伴った理解の深まりが期待できる！
- ◎ 自分の成長や変容に気づき、充実感、達成感、自己効力感などを感じられる！
- ◎ 学び方のよさに気づき、次の学び方に生かすことができる！
- ◎ 新たな課題の発見ができる！

教師の『タイムマネジメント』が重要！



今日は〇〇を学習して、□□というきまりに気付いた！

◎ まとめ・振り返りの時間を十分に確保します

- ➔ 1 単位時間の指導内容を精選しましょう。
- ➔ 導入は、短時間で、子供の課題解決意識や解決の必要性を高めましょう。
- ➔ 話し合いのポイントを明確にし、ねらいに迫るコーディネートをしましょう。
- ➔ 授業終了10分前にはまとめに入れるようにしましょう。

【まとめのポイント】

○ 「何が分かり、何ができるようになったのか」をまとめます

まとめは本時の課題に対する答え・結論。つまり学習内容に気付かせるものです。

- ☆ 子供同士で学んだ中で一番大事なことや方法をアウトプットさせ、子供の言葉で
- ☆ 「キーワード」や「学習用語」を用いて（初期は「型」を使っても）
- ☆ 本時のねらいとの整合性を図って
- ☆ 学んだことを活用する活動（適用問題）に取り組む



【振り返りのポイント】

○ 「どのように学習してきたか」学び方のよさを振り返ります

振り返りは学習の方法や自己の変容・成長に気付かせるものです。

- ☆ 「感想」だけでなく「変容」「内容」「方法」など、発達段階に合わせて「書く視点」を明確に
- ☆ 自分の変容や成長を実感させて
- ☆ 教師の見取り・称賛・価値付けはもちろん、子供同士の称賛も大切に



2 振り返りの工夫(例)

- キビタンシートや活用力育成シート等を活用します。
 - ➔ 子供の実態に応じたコース別の問題を作成、活用し、習熟を図りましょう。
- 一人一台端末を活用します。
 - ➔ 繰り返し学習により技能の習熟を図ったり、より深い理解を促したりしましょう。
 - ➔ 振り返りを記録して、自分の成長や変容を自覚できるようにしましょう。
- 家庭学習へつなげます。
 - ➔ 家庭学習を想定して、「家でも繰り返しやってみよう」「もっと調べたい」という意欲を高めましょう。
- 新たな学びへつなげます。
 - ➔ 次の学習の見通しをもたせたり、生活とのつながりを考えさせたりする発問をしましょう。
- 学び方のよさを実感させます。
 - ➔ 学び方のよさを価値付け、「自分(たち)のここが成長した!」「この学級だからこの学び方ができた!」と子供たちに実感させることで、学習意欲の向上や親和的な学級集団づくりにつなげていきましょう。

